

会場使用・試合進行についての注意

以下の注意事項は、東京高体連卓球男子専門部が主催・主管するすべての試合に共通の注意事項です。参加各校はすべての部員・応援保護者などに周知・徹底してください。

《会場使用について》

1. ゴミはすべて持ち帰る

現在では、ほとんどの自治体がゴミの分別回収を徹底するとともに、ゴミ収集を有料化しています。君たちが残していったゴミは、誰かが労力を使って分別し、お金を出して片付けなければなりません。

2. 上・下足の区別を厳守する

外履きのままでフロアに上がり込んだり、卓球シューズのままで屋外に出たりしないでください。外履きを屋内に持ち込む際には**各自で靴袋を用意**して、土を屋内に持ち込まないようにしてください。上・下足のルールは施設ごとにさまざまなので、詳細はそれぞれの施設のルールに従ってください。

3. 持ち物をしっかり管理する

財布や携帯電話などの紛失・盗難や、ラケット・ユニフォームなどの忘れ物が少なくありません。盗難・紛失の責任は持てません。また、保管場所がありませんので、**忘れ物・落とし物は処分します。試合会場（公営の体育館や学校の事務室）に問い合わせをしないでください。**

4. 交通について

選手の会場への交通は、原則として公共交通機関を利用してください。**自動車・バイクの利用は禁止**します。また、どの会場も駐車場は確保していませんので、**引率の先生・応援の保護者やOBも自動車での来場はご遠慮ください。**（保護者による送迎は保護者の責任において行ってください。ただし、その場合も駐車場は利用できません。）

5. その他

各会場ごとに細かなルールは違いますが、施設・設備は大事に使い、掲示や放送などに注意してマナーを守ってください。**マナーが悪いと会場を使用できなくなります。**

《試合進行について》

1. 試合はすべて現行の日本卓球ルールを適用しておこないます。

(全試合5セットマッチ、一部上位試合のみ選球・タイムアウト制を適用。)

①ユニフォームの着用

ルールでは競技用の服装について「日本卓球協会認定のユニフォーム」と定められています。上下とも「日本卓球協会認定」のワッペン(JTTAAのマーク)の付いたユニフォームを着用してください。それ以外の服装(体育用のTシャツ・ハーフパンツなど)では試合はできません。また、高体連の競技規定により広告付きユニフォームは使用できません。

※ 「競技用シャツ(袖・襟を除く)、ショーツまたはスカートの主たる色は、使用するボールの色と明らかに違う色でなければならない。」(平成27年9月改正)

②ゼッケンの着用

選手登録の際に配布される日本卓球協会指定のゼッケンに、姓(同チームに同姓が複数人いる場合、姓のあとに名の1文字など)・学校名を明記して、ユニフォームの背中に着用してください。年度当初、ゼッケンのプリントが間に合わないなどの事情がある場合には、事前に申し出て許可を受けた上で各自で用意した布製のゼッケンをつけてください。

③接着剤・ラバークリーナーの使用制限

2008年のルール改正で揮発性溶剤を含む接着剤・ラバークリーナーはすべて禁止され、補助剤も禁止されました。また、公認の接着剤・ラバークリーナーも会場内の指定された場所でしか使うことはできません。これらに違反すると出場停止などの厳しい措置をとります。

④正規のサービス

「サービス動作を隠さない」という主旨で、オープンハンド・トスは垂直に16cm以上・フリーハンドの位置が定められています。ルールに沿ったフェアなサービスを心がけてください。

2. 個人戦(シングルス・ダブルス)は勝者報告・敗者審判で進行します。

①試合結果の報告

勝った選手がすぐに進行席に報告してください。勝者報告を忘れると失格になります。決勝大会上位の試合以外、試合結果記録用紙はありません。

②審判

特別な指示がない限り、負けた選手はボールを確保してコートに残り、次の試合の審判をしてください。敗者審判を忘れて帰ると出場停止などのペナルティの対象となります。ただし、各コート最初の試合はシード選手にお願いします。

③進行の放送(コール)

基本的には各コートで次に行う試合の対戦者を放送で呼び出します。呼ばれた選手はコートのうしろに試合ができる服装で待機し、前の試合が終わったらずぐにコートについてください。

3. 団体戦は勝者報告・相互審判で進行します。